

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



角形引掛シーリングボディ



丸形引掛シーリングボディ



埋込形引掛シーリングローゼット

❗天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店（有資格者）に取り付け工事を依頼してください。（しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。）

電気工事店（有資格者）のかたへ

●付属の角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。



適用電線
1.6または
2.0単線

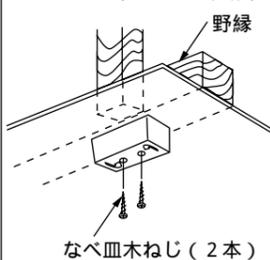
＊なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

解除のしかた

●ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



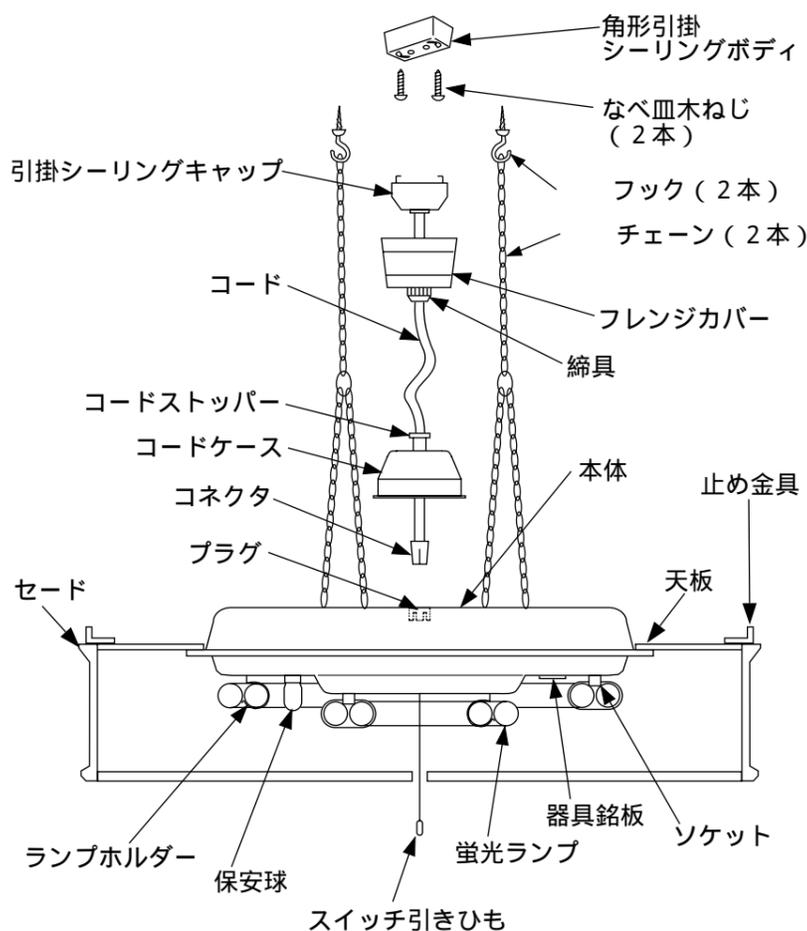
②付属の角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



❗野縁などの補強材のある所に取り付けてください。
＊落下によるけがの原因となります。

各部の名称

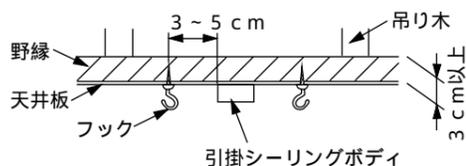
取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図を使用しています。



フックの取り付けかた

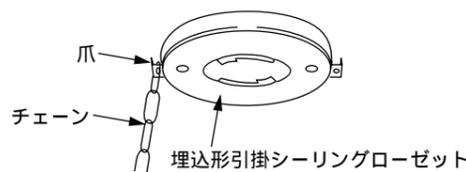
（角形引掛シーリングボディ）
（丸形引掛シーリングボディ）
が天井に付いている場合

●取り付け用フックは、必ず野縁やさお縁など補強材のある所に取り付けてください。
フックの取付ピッチは下図を参照ください。



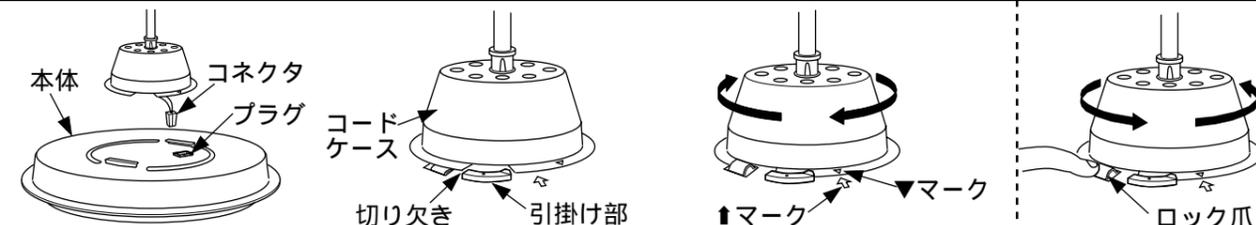
（埋込形引掛シーリングローゼット）
が天井に付いている場合

●取り付け用フックは使用しません。
埋込形引掛シーリングローゼットの爪にチェーンを引っ掛けてください。



器具の取り付けかた

1.コードケースの取り付け



❗本体のプラグにコネクタをしっかりと差し込んでください。
＊接続が不完全な場合、火災の原因となります。

コードケースの切り欠きを本体の引掛け部に合わせてください。

コードケースを矢印方向にいっぱい回してください。（コードケースの▼マークと本体側の▲マークが合うようにしてください。）

コードケースを取りはずす場合は、ロック爪を押しながら矢印方向に回してください。

2.器具の取り付け

①チェーンを本体のチェーン取付部に引っ掛け、ペンチなどでつぶしてはずれないように閉じてください。

❗チェーンは必ず右図の取付部に取り付けてください。



❗チェーンはペンチなどで必ず閉じてください。

②ランプホルダーに蛍光ランプを引っ掛け、ランプソケットに口金を差し込んでください。

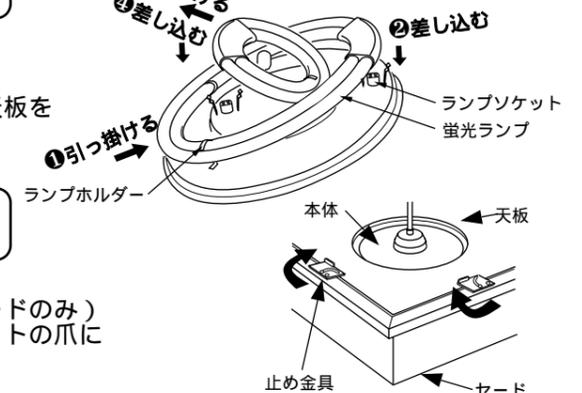
❗確実に差し込まれているか確認してください。
＊接続が不完全なまま使用した場合、火災の原因となります。

③あらかじめコードをいっぱい引き出してください。
「3.コード長さの調節」をご参照ください。

④引きひもをセードの穴に通してからセードの中に本体を置き天板をかぶせてください。

⑤セードの止め金具を回して天板を固定してください。

❗セードは正しく取り付けてください。
＊傾いたまま使用した場合、火災の原因となります。



⑥本体の位置マークにセードの位置マークを合わせて（角形セードのみ）器具を持ち上げ、フックまたは埋込形引掛シーリングローゼットの爪にチェーンを引っ掛けてください。
フックの取り付けは、「各部の名称」をご参照ください。

⑦引掛シーリングキャップを天井の配線部品に差し込み、右へいっぱいひねってください。

❗確実に取り付けられているか確認してください。
＊接続が不完全なまま使用した場合、火災の原因となります。

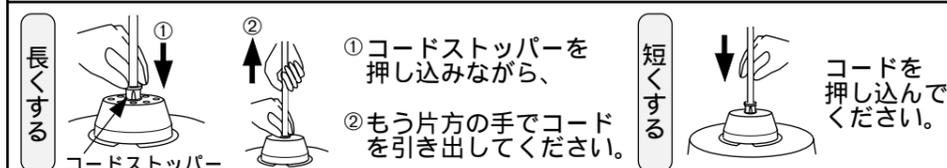
⑧フレンジカバーを天井面に押し上げて縮具で固定してください。

■器具取り付け後にコードのたるみが気になったら、コードをコードケースに押し込んでください。「3.コード長さの調節」をご参照ください。

❗器具使用時にコードに直接荷重がかからないよう、コードは少したるませてください。

■セードを外す場合は、上記の逆の順序で行ってください。
■器具を置く場合は、平らな場所に静かに置いてください。

3.コード長さの調節



コードを押し込んでください。

引掛シーリングキャップのはずしかた

引掛シーリングキャップに付いている押しボタンを押しながら矢印方向へ回してください。

